



県政報告



発行責任者／三重県議会議員 杉本熊野

「何に、癒される？」

行きつけの美容院で、20歳代の女性の美容師さんに尋ねたところ、

「春のにおい！何とも言えない春のにおいってあるでしょう。

学校の帰り道、風がはこんでくる、草や土のにおいが大好きだった」と、

目を輝かせて話してくれました。オシャレな今風ギャルの予想外の言葉に、とても嬉しくなり、



「わたしも、山のにおい、潮のかおりに癒される！」と、思い出を語ってしまいました。
しかし今、私たちの社会は、こんな「におい」を失いかけているようにも感じます。
大規模な自然災害の発生、人口減少と超高齢化社会の到来、経済のグローバル化など、
今、時代が大きな転換期を迎える中、**豊かな自然の中で、人と人、**
人と地域、人と自然のつながりを大切にし、命と暮らしの安全・安心が
実感できる三重をめざして、これからも精一杯とりくみます。
県民の皆さまのご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

あるく！きく！ 活動報告 Vol.2

県内外の調査や地域を歩くことに
より、多くの皆さんと対話をし、
県政の課題をつかむ活動です。



放射性物質測定分析の様子を 調査してきました！

●福島第一原子力発電所の放射性物質漏洩事故により、放射能汚染への不安が高まっており、特に幼い子どもを持つお母さんから「食べ物が大丈夫か心配。三重県の検査体制は、どうなっているの？」という声をいたたくようになってきました。●そこで、まずは、放射性物質をどのように測定分析するのかを調べるため、(財)三重県環境保全事業団(河芸町)を訪ねました。ゲルマニウム半導体検出器によって、飲料水や牛乳、農産物、海産物等に含まれる放射性物質を測定しています。牛肉や堆肥など公的機関からの検査依頼だけでなく、民間からの検査依頼にも対応しています。

この中に
測定する
ものを
入れます



(財)三重県環境保全事業団

三重県の 放射性物質の 検査体制

- 毎日、大気中の放射線量を測定しています。大気中の雨水やちり、水道水も定期的に測定しています。
- 過去に出荷制限措置がとられた17都県の食品を対象に、放射性物質の検査をしています。
- 9月からは、学校給食モニタリング事業によって、学校給食の放射性物質の検査が、モニタリング対象校で実施される予定です。
- 検査結果は、三重県のHPで全て公表しています。



県民の命と暮らしの安全・安心を守るために…。

【2012年 医療・福祉施策トピックス】

あなたの声、あなたの思いを「かたち」に!!



1秒でも早く病院へ！

●三重県独自のドクターへリが、2月より運航開始しました。

三重大医学部附属病院と伊勢赤十字病院の2病院を基地病院として、これまでに62件(6月15日現在)の出動がありました。約35分以内に医師の治療を受けることができるようになり、救命に効果が出ています。今後はより効果的な運用となるようとりくみます。



住み慣れた地域で暮らし続けたい！

●県立一志病院は、在宅医療の支援・一次救急医療・予防医療などに、医院長はじめ病院一丸となってとりくんでいます。

H20年12月の一般質問で、私は、「一志病院を、これから地域医療を支える家庭医療の人材育成の拠点病院として位置づけること」を要望し、また、「在宅医療体制の重要性」を指摘しました。現在は、その方向で一志病院改革がすすめられており、今年度は、家庭医の人材育成のため、研修施設の改修工事を行います。



災害発生時、障がい者はどこへ？

●災害時要援護者の避難対策を！(2/27質問)

東日本大震災での障がい者の死亡率は、障害のない人の約2倍となっており、「命の格差」が指摘されています。「障がい者が安心して避難できる福祉避難所の整備状況は？」、「災害時要援護者避難対策マニュアルを改定する予定は？」などについて質問し、さらなる災害要援護者対策を強く求めました。



●三重県知事へ提言！(3/16)

「私は、生まれつきの障がいですから、災害が起きたとき、一人では逃げられないし、まあ死んでも仕方がないかな、と思うことが普通でした。」

県内の障がい者団体が、このような障がい者の声を集め、災害発生における支援策を求める報告書をまとめ、知事に提言しました。私も、一緒に提言・要望を行いました。



HAPPY MIE PROJECT

【今回のテーマ】多文化共生の三重づくり

三重県内で
4万5547人

ですが、日本語の読み書きができず、日本で運転免許を取得できない人のことが問題となっていました。

●三重県内の外国人登録者数は、4万5547人(H23年末)で、うちブラジル人は1万5232人(33.4%)と最多

今年度、私は、
健康福祉・病院常任委員会委員長を務めています。
日々の暮らしに直結している医療、高齢者・障がい者・児童福祉等の施策の充実を求める、地域の皆さまの声を多数いただいています。その声や思いが「かたち」になるよう、精一杯がんばります。

所管する事項

- ユニバーサルデザインのまちづくり
- 食の安全・安心の確保
- 支え合いの福祉社会づくり
- 高齢者福祉の充実
- 障がい者の自立に向けた支援
- 子どもの育ちを支える家庭・地域づくり
- 子育て支援 ●健康対策
- 児童虐待の防止と社会的擁護の推進
- 地域医療体制整備 ●県立病院改革 等

Voice & Thought



学童保育へ財政的支援を！



子どもの医療費を助けて！

●9月から子ども医療費助成が小学校6年生の入通院まで拡大。

三重県は、市町が行う子ども医療費助成事業に対して、その費用の2分の1を補助していますが、平成24年9月からは、その対象が小学校6年生の入院・通院まで拡大されます。

今後は、精神障がい者の助成対象の拡大や病院窓口での無料化等を求めていきます。



お母さんたちからの
切実な願いでした！



期待しています！発達に障がいのある子どもたちのために！

●子ども心身発達医療センター(仮称)開設を計画。

三重県は、津市高茶屋にある県立小児診療センターあすなろ学園と県立草の実リハビリテーションセンターを一体的に整備し、三重病院隣接地(津市大里地区)に、新たに「子ども心身発達医療センター(仮称)」開設を計画しています。

平成25年度工事着工予定です。医療・福祉・教育がしっかりと連携し、子どもたちの安心と成長支援の拠点センターとなるようとりくんでいきます。



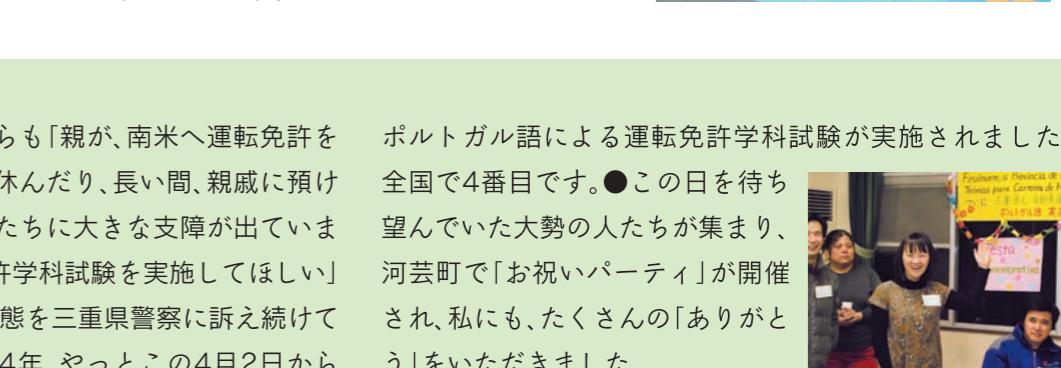
車いすだと、駐車場で困るときがあります！



三重おもいやり駐車場
利用証制度スタート！

●この秋スタート！三重おもいやり駐車場利用証制度

三重県は、身体に障がいのある方や妊産婦、歩行が困難な方が外出しやすいよう、車いす使用者用駐車区画を利用できる人を明らかにし、利用証を発行する「三重おもいやり駐車場利用証制度」を、秋頃に導入する予定です。



●また、津市内の学校の先生からも「親が、南米へ運転免許を取りに帰るため、長期間学校を休んだり、長い間、親戚に預けられ不安定になるなど、子どもたちに大きな支障が出ています。ポルトガル語による運転免許学科試験を実施してほしい」という声があがり、私は、この実態を三重県警察に訴え続けてきました。●訴えを始めてから4年。やっとこの4月2日からポルトガル語による運転免許学科試験が実施されました。全国で4番目です。●この日を待ち望んでいた大勢の人たちが集まり、河芸町で「お祝いパーティー」が開催され、私にも、たくさんの「ありがとうございます」という声をいただきました。

2012
3.11

東日本大震災復興支援ネットワーク 「こころネット」立ち上げ!!

つながる支援活動
こころ
ネット

設立までの経緯

2011年、東日本大震災被災地を何度も訪れる中で、子どもや女性たちへのきめ細かい支援が必要であることを実感し、いろいろな場で被災地の状況を訴えながら、「face to face」「被災者と支援者をつなぐ」を基本に支援活動を開始しました。

最初に届いたオーダーは、ひとり一人サイズの違う女子中学生たちのプラジャーでした。大量のスポーツブラは、一度ではなかなか品物がそろわず、津市内のお店に何度も通いながら、やっと送ることができました。その他、生理用品、暖かい靴下、春物のハンカチ、スポーツ用具、高校入学祝いの文房具、お菓子、三重の米と野菜等々…。

送り先は、被災地の小学校や中学校をはじめ、高校、その他施設など多岐にわたりました。

口コミで支援者はどんどん増え、ネットワークが広がっていきました。そして、こんな仲間の思いをさらにつないでいきたいと願い、2012年3月11日「こころネット」を立ち上げました。



みえ災害ボランティア支援センターで支援についての打ち合わせ

●支援物資送り先

亘理町荒浜中学校、山元町山下中学校、東松島市鳴瀬第二中学校、岩沼市玉浦中学校、玉浦小学校、南三陸町戸倉中学校、名取市閑上小学校、閑上中学校、南相馬市小高小学校、石巻市雄勝中学校、石巻市北上中学校、石巻市石巻好文館高校、女川町女川第一中学校 P T A、福島土湯ぽかぽかプロジェクト…等々

こころネット活動記録

- 2012年3月11日(日) 「こころネット」立ち上げ
- 3月24日(土) みえ災害ボランティア支援センターと打ち合わせ
みえ発! ボラパックII 登録団体に登録
- 4月1日(日) 打ち合わせ
- 4月22日(日) 打ち合わせ
- 4月27日(金)～4月30日(月) 岩手県山田町へ
- 8月2日(木)～8月5日(日) 岩手県山田町へ



行ってきました！山田町！

●子どもも大人も楽しめる「わくわく広場」開催！

子どもから高齢者まで、皆さんが気軽に参加しやすい活動を！と考え、「メッセージカード」「プラバンキーホルダー」「刺し子ふきん」「伊勢型紙」の4種類の制作メニューを準備しました。子どもから高齢者までいろいろな出会いがありました。

おかあさんに「お誕生日おめでとう」、おばあちゃんに「ご飯つくってくれてありがとう」など気持ちをこめたメッセージカードが出来上がりいました。



4月28日、山田町は桜が満開でした！
「今年の桜を見て、やっと笑えるようになった…」一緒にお風呂に入った地元のおばあさんの言葉です。

※みえ災害ボランティア支援センター(津市羽所町700)／被災地復興に息長く寄り添い、三重県からできる支援活動を展開しています。



【杉本ゆや県政懇談会開催中!!】

県政・県議会に対してのご質問・ご意見を聞かせていただこうと、各地域で懇談会を開催中です。
子どもたちの笑顔あふれる未来をめざし、くらしの切実な願い、現場の声、女性たちの思いを県政に反映できるよう精一杯とりくみます。皆さんもお気軽にご参加ください。

県政・県議会に対してのご質問やご意見をお待ちしています。



杉本ゆや事務所 (各地域で行われる行事などにもどんどん声をかけてください)

〒514-0003 津市桜橋2丁目142 TEL 059-226-6252 FAX 059-227-7139

■「杉本ゆや」で検索するとホームページをご覧頂けます。

